令和4事業年度

決 算 報 告 書

自:令和4年4月1日

至:令和5年3月31日

国立大学法人千葉大学

令和4年度 決算報告書

国立大学法人 千葉大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
近次 運営費交付金	18,107	18,346	239	(注1)
うち補正予算による追加	-	213	213	
施設整備費補助金	3,871	3,038	△ 833	
船舶建造費補助金	-	_		(,,
補助金等収入	1,643	5,763	4,119	(注3)
大学改革支援•学位授与機構施設費交付金	42	42	_	
自己収入	49,465	49,743	277	
授業料、入学料及び検定料収入	8,656	8,556	△ 100	(注4)
	40,311	40,106	△ 204	(注5)
財産処分収入	_	329	329	(注6)
雑収入	498	750	252	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	7,788	7,702	△ 85	(注8)
引当金取崩	357	395	37	(注9)
長期借入金収入	_	_	_	
貸付回収金	_	_	_	
目的積立金取崩	_	56	56	(注10)
引当特定資産取崩	_	_	_	
計	81,277	85,087	3,810	
支出				
業務費	65,970	67,179	1,208	(注11)
教育研究経費	24,576		3,429	(,,,
診療経費	41,394			
施設整備費	3,913	3,080	△ 833	(注12)
船舶建造費	_	_	_	
補助金等	1,375	5,504	4,129	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	7,788	7,263	△ 524	
貸付金	_	_	_	
長期借入金償還金	2,228	2,228	0	
大学改革支援•学位授与機構施設費納付金	_	_	_	
計	81,277	85,256	3,979	
収入 一 支出		△ 168	△ 168	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった教育研究基盤維持経費が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が239百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、事業の一部を令和5年度に繰越したため、合算して予算額に比して決算額が833百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、主として予算段階では予定していなかった新型コロナウイルス感染症関連の補助金の増加のため、予算額に比して決算額が4.119百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、収納代行サービス利用による入金時期のずれにより、予算額に比して決算額が100百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、主として入院患者数が見込みを下回ったことにより、予算額に比して決算額が2 04百万円少額となっております。
- (注6) 財産処分収入については、柏の葉地区(予防医学センター)の建物等の一部を売却したため、予算額に比して決算額が329百万円多額となっております。
- (注7) 雑収入については、主として講習料収入、留学生用宿舎収入等の増加により、予算額に比して決算額が25 2百万円多額となっております。
- (注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として事業の一部を令和5年度に繰越したため、予算額に比して決算額が85百万円少額となっております。
- (注9) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった退職給付引当金等の取崩を行ったため、予算額に比して決算額が37百万円多額となっております。
- (注10) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった退職給付金等により取崩を行ったため、予算額に比して決算額が56百万円多額となっております。
- (注11) 業務費については、主として令和2年度の宿舎売却収入を用いた土地購入等の支出増加及び新型コロナウイルス感染症関連の補助金を診療経費の一部に充当したことによる減少により、予算額に比して決算額が1,208百万円多額となっております。
- (注12) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が833百万円少額となっております。
- (注13) 補助金等については、主として(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が4,219百万円多額となっております。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、主として(注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が524百万円少額となっております。